

2024（令和6年度）主催競技採用 ローカルルールひな型等

G-1 : 適合ドライバーヘッドリスト

G-2 : 溝とパンチマークの仕様

G-3 : 適合球リスト

F-5.2 : グリーンに近接する動かさない障害物

（球と障害物の両方がフェアウェイの芝の長さかそれ以下に
刈ってあるジェネラルエリアの部分にある場合にだけ適用）

F-7 : 張芝の継ぎ目

規則20-1(c)3. : 正しい処置について疑問がある

場合、2つの球をプレーすること。

香川県ゴルフ協会

ローカルルールひな型 G-1

「プレーヤーがストロークを行うために使うドライバーはR&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド（モデルとロフトで識別される）を持つものでなければならない。このリストは定期的に更新され、RandA.orgで閲覧できる。

例外－1999年より前のドライバーヘッド：1999年より前に製造されたクラブヘッドを持つドライバーはこのローカルルールから免除される。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格。

適合ドライバーヘッドリストに掲載されていないドライバーを持ち運んでいるだけで、そのドライバーでストロークを行っていないのであれば、このローカルルールに基づく罰はない。」

ローカルルールひな型 G-2

※G-2は香川県ジュニア大会では採用しない

ストロークを行うとき、プレーヤーは2010年1月1日に施行された用具規則の溝とパンチマークの仕様に適合するクラブを使わなければならない。

現行のゴルフ規則への適合性がテストされたフェアウェイウッド、ハイブリッド、アイアン、ウェッジの用具データベースはRandA.org で閲覧できる。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格。

こうした溝とパンチマークの仕様に適合しないクラブを持ち運んでいるだけで、そのクラブでストロークを行っていないのであれば、このローカルルールに基づく罰はない。

ローカルルールひな型 G-3

「ストロークを行うときに使用する球はR&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。このリストは定期的に更新され、RandA.orgで閲覧できる。

このローカルルールに違反して最新のリストに掲載されていない球でストロークを行ったことに対する罰：失格。」

ローカルルールひな型 F-5.2

「動かさない障害物による障害からの救済は規則16.1に基づいて受けることができる。

注：このローカルルールは球と障害物の両方がフェアウェイの芝の長さかそれ以下に刈ってあるジェネラルエリアの部分にある場合にだけ適用する。

そうした動かさない障害物がパッティンググリーンに近接していて、プレーの線上にある場合、プレーヤーには救済を受けるための次の追加の選択肢もある：

ジェネラルエリアの球。プレーヤーは動かさない障害物が次の場合、規則16.1bに基づいて救済を受けることができる：

- ・プレーの線上にある。

そして» そのパッティンググリーンから2クラブレンジス以内にある。

そして» 球から2クラブレンジス以内にある。

しかし、物理的な障害とプレーの線の障害の両方を含め完全な救済を受けなければならない。

例外—プレーヤーが明らかに不合理なプレーの線を選択する場合、このローカルルールに基づく救済はない。

ローカルルールに違反して誤所から球をプレーしたことに対する罰：

規則14.7aに基づく一般の罰。」

ローカルルールひな型 F-7

「プレイヤーの球が張芝の継ぎ目の中にあるか、触れている場合、あるいは継ぎ目がプレイヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合：

(a) ジェネラルエリアの球。そのプレイヤーは規則16.1bに基づいて救済を受けることができる。

(b) パッティンググリーン上の球。そのプレイヤーは規則16.1dに基づいて救済を受けることができる。

しかし、その継ぎ目がプレイヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。

救済を受けるときは、張芝の区域の中のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目として扱われる。そのことは、球をドロップした後にどの継ぎ目であってもプレイヤーの障害となる場合、たとえその球が基点から1クラブレンジ以内にある場合でも、そのプレイヤーは規則14.3c(2)に基づいて要求されるように処置しなければならないことを意味している。

ローカルルールに違反して誤所から球をプレーしたことに対する罰：規則14.7aに基づく一般の罰。」

20.1c ストロークプレーでの規則問題

(3) 正しい処置について疑問がある場合、2つの球をプレーすること。

ホールプレー中に正しい処置について疑問がある場合、罰なしに2つの球をプレーしてそのホールを終了することができる：

- ・ プレーヤーはその疑問となる状況が生じた後、次のストロークを行う前に、2つの球をプレーすることを決めなければならない。
- ・ プレーヤーは、その球に対して用いた処置を規則が認める場合、どちらの球をカウントするのかを選び、ストロークを行う前にマーカーか別のプレーヤーに知らせるべきである。
- ・ プレーヤーが時間内に選択をしない場合、先にプレーした球が自動的に選択した球として扱われる。
- ・ プレーヤーは、両方の球が同じスコアであったとしても、スコアカードを提出する前にその状況の事実を委員会に報告しなければならない。プレーヤーがそうしなかった場合、失格となる。
- ・ 第2の球をプレーすることを決定する前にストロークを行った場合：
 - » この規則はいっさい適用せず、プレーヤーが第2の球をプレーすることを決定する前にプレーした球でのスコアをカウントする。
 - » しかし、第2の球をプレーしたことに対する罰はない。

この規則に基づいてプレーした第2の球は、規則18.3に基づく暫定球と同じではない。